



小児歯科医院を開業する父が楽しそうに仕事を
する姿を見て育ち、歯学部への進学を決めた石通
さん。東京医科歯科大学を選んだのは、先輩から「少
人数制で雰囲気もいい」と聞いていたから。「患者
さんの話をよく聞いて、『丁寧に診てもらえてよかつ
た』と言ってもらえる歯科医」を目指している。

Hideyuki Ishidori

石通秀行さん

歯学部歯学科5年 ◎ バレーボール部所属

中学時代に「野球部ではレギュ
ラーになれそうにない」ので入っ
たバレーボール部だが、高校・大
学でも続け、プレー歴はすでに11
年目だ。東京医科歯科大学のバ
レーボール部は初心者も多く、石
通さんはレフトで活躍するチーム

ほかの専門診療科でも見学や補
助を行っている。「特に興味を持っ
ているのが口腔外科です。腫瘍や
全身疾患の一つの症状として表れ
るものなど、診療・治療の幅がと
ても広いですから。まだ、抜歯の
介助しかできませんが、医学部附
属病院との連携治療などを目の当
たりにできるので、とても勉強に
なります」。

「模型とは違いますから、緊張
しました。診察や治療には少しず
つ慣れていくと思いますが、あの
ときの『初心』は忘れないでいた
いと思っています」

歯学科5年生の石通さんは現
在、歯学部附属病院で月曜日から
金曜日まで終日、包括臨床実習を
行っている。総合診療部で20人ほ
どの患者を担当しており、初めて
手掛けたのは根管治療だった。模
型で何度も練習したが、前の晩は
不安で寝付けず、繰り返し手順を
確認したという。

知識、技術、経験を 積み上げて 自信を持って解決できる 歯科医になりたい

の星。毎日の授業や実習で忙しい
中、シーズン中は週に3回練習で
汗を流す。
「一つのボールをみんなで力を
合わせてつなぐ、そのチームワー
クと一体感が好きなんです。学部
や学年を越えた仲間には、いろい
ろな刺激や情報をもらっています」
引退を控えたこの夏には、最後
の大試合となる「オールデンタル」が
ある。
「過去に優勝したことはあるの
ですが、私が入学してからは2位

が最高。絶対に優勝して有終の美
を飾りたいです」
ちょっとした変化や違和感も患
者さんにとっては重大事なので、
話をよく聞いて、最善の方法で解
決できるような歯科医になりたい
という石通さん。
「東京医科歯科大学という恵ま
れた環境にいますので、卒業臨床研
修や後期臨床研修などを通じて、
知識、技術、経験をもっともっと
積み上げて、自信を持てるようにな
りたいです」

ラッキーナンバーの「9」を背番号に付け、
練習では率先して仲間に声をかける。食べ
ることが好きで、仲間を呼んで手作り料
理をふるまうこともある。